

関西の拠点となる文化庁分室の 京都市への設置に関する共同要望

東京への一極集中を是正し、文化を多極化させ地域の文化を掘り起こすことによって、関西における多様で魅力的な文化活動を推進するため、京都国立博物館内に「文化庁関西元気文化圏推進・連携支援室」が設置されています。

関西には、京都市の14の世界遺産、全国の約2割を占める国宝等の文化財、伝統芸能、茶道・華道や焼物・織物等の伝統文化・技術をはじめ、大阪市の人形浄瑠璃文楽などの豊かな芸能文化、堺市の世界遺産暫定一覧表に記載された百舌鳥古墳群、神戸市の重要伝統的建造物群保存地区を構成する異人館など、個性豊かな都市の中に古代から現代にいたる多くの有形・無形の歴史的・文化的資源が集積しています。

4政令指定都市をはじめとする関西の文化力を強力に発信していくことが、我が国の文化力の向上、文化芸術立国につながるものと確信しています。

国におかれましては、関西に集積する歴史的・文化的資源を生かしたソフト・ハード両面での文化政策を展開していく関西の拠点として、「文化庁関西元気文化圏推進・連携支援室」を継承し、機能を充実強化した文化庁分室を京都市に設置いただきますよう強く要請致します。

平成23年1月25日

京都市長	門川	大作
大阪市長	平松	邦夫
堺市長	竹山	修身
神戸市長	矢田	立郎